

「飼料用米多収日本一」 出品調査書

【各項目の記載は、地域再生協議会等へ提出の営農計画書等を元に記載願います】

1 当年産の経営概要

(1)氏名(集団名:代表者名)	(ふりがな)
(2)品種名	※複数の品種を作付けしている場合は、以下項目の記載は合計値を記載してください。
(3)飼料用米作付面積 a	
(経営全体の全水稻作付面積) a	
(全経営面積) a	

※飼料用米作付面積は、「営農計画書等」に記載された面積(飼料用米種子面積を除く)

2 当年産の収量向上の取組(該当に☑を入れてください。複数選択可)

(1)品種の選択理由		☐ :多収が期待できる ☐ :耐倒伏性 ☐ :耐冷性 ☐ :耐病性 ☐ :難脱粒性 ☐ :栽培し易い ☐ :作期分散 ☐ :地域適性 ☐ :需要者からの要望 ☐ :その他()
(2)施肥	①土壌改良資材・基肥	☐ :稲・麦わらすき込み ☐ :緑肥 ☐ :リン酸資材 ☐ :ケイ酸資材 ☐ :塩基(石灰・苦土・加里)資材 ☐ :鶏ふん堆肥 ☐ :牛ふん堆肥 ☐ :豚ふん堆肥 ☐ :育苗箱全量施肥 ☐ :主食用米一発肥料 ☐ :多収品種専用一発肥料 ☐ :化成肥料 ☐ :高度化成肥料 ☐ :BB肥料 ☐ :液状複合肥料 ☐ :その他()
	②追肥	☐ :穂肥 ☐ :実肥 ☐ :なし ☐ :その他()

3 当年産のコスト低減の取組(該当に☑を入れてください。複数選択可)

(1)輪作	①輪作の実施	☐ :あり ☐ :なし
	②輪作ありの場合 (品目名)	(前々年産) 品目名()
		(前年産) 品目名()
(2)育苗・播種	①播種形式 (移植・直播等)	☐ :移植 ☐ :乾田直播 ☐ :湛水直播
	②育苗・移植のコスト低減	☐ :プール育苗 ☐ :密播(密苗) ☐ :資材軽量化 ☐ :疎植 ☐ :その他()
(3)施肥	①耕畜連携による堆肥利用	☐ :あり ☐ :なし
	②基肥等の施肥方法	☐ :田植え前全層施肥 ☐ :田植え同時側条施肥 ☐ :育苗箱施肥 ☐ :その他()
	③追肥の施肥方法	☐ :散布機 ☐ :流し込み ☐ :無人ヘリコプター ☐ :ドローン ☐ :その他()

(4) 病虫害防除方法		☐ :育苗箱施用 ☐ :田植え同時側条施用 ☐ :無人ヘリコプター ☐ :ドローン ☐ :その他()
(5) 乾燥・調製コスト低減	①乾燥コスト低減	☐ :立毛乾燥させている ☐ :立毛乾燥させていない
	②乾燥・調製 (ライスセンターやカントリーエレベーター等の共同施設利用等)	☐ :主食用と共通のライスセンター・カントリーエレベーター ☐ :飼料用米専用のライスセンター・カントリーエレベーター ☐ :自己所有 ☐ :その他()
(6) 出荷方法		☐ :もみ ☐ :玄米
		☐ :フレコン ☐ :バラ ☐ :紙袋 ☐ :その他()
(7) 規模拡大等		☐ :集積(作付面積増)している ☐ :団地化している

4 飼料用米の販売先等(該当に☑を入れてください。)
※販売先が複数の場合、最も出荷数量の多い1社分を記入してください。

(1) 販売先名	
(2) 流通区分	☐ :県外流通 ☐ :県内流通 ☐ :自家利用 ☐ :不明

5 飼料用米の販売価格等(実需者と直接取引を行う場合で、販売価格等を把握できる場合のみ回答してください。)
(該当に☑を入れてください。)
※販売先が複数の場合、最も出荷数量の多い1社分を記入してください。

(1) 引渡方法	☐ :生産者持込 ☐ :実需者等引取
(2) 輸送費負担	☐ :生産者負担 ☐ :実需者等負担
(3) 農産物検査(検査料負担)	☐ :生産者負担 ☐ :実需者等負担 ☐ :未受検
(4) 販売価格(品代) (可能な範囲で記入してください)	品代()円/kg
	☐ :輸送料・手数料等差し引き前の価格 ☐ :輸送料・手数料等差し引き後の価格
(5) 輸送料・手数料等 (可能な範囲で記入してください)	輸送料()円/kg
	手数料()円/kg
	その他(〇〇料:)円/kg